

健康づくり活動について

アサヒビール株式会社 神奈川工場

【事業場概要】

アサヒビール(株)神奈川工場では、約 412,000 m²の敷地に従業員約 80 人、関連会社を含めて約 300 人が働いています。

神奈川県全域、東京、山梨、静岡の一部を主な出荷先とし、1年間に 350ml 缶で約 4 億 4 千万本のビール類を製造しております。

製造品種としては、ビールでは「スーパードライ」、発泡酒では「本生アクアブルー」、新ジャンルでは「クリアアサヒ」の 3 品種を製造しております。

竣工は 2002 年（平成 14 年）5 月、竣工時のコンセプトは「革新的な環境保全と生産性を有する 21 世紀の工場」です。地球環境にやさしく、地域社会環境・社員環境を考えた環境創造型工場を目指しています。



【健康づくり推進委員会】

工場で働く社員の健康づくりについては、総務部に設置した「健康づくり推進委員会」を中心に神奈川工場社員の健康増進のための活動の企画立案・計画・実行を行っております。

【健康づくり推進委員会の具体的な活動】

1. ヘルシーマイレージ
健康施策への参加や達成度、個人の自主的な運動（運動の種類・時間）に応じてポイントを付与。合計ポイントを競い合い、多くポイントを獲得した人に賞品を進呈。
2. 体力測定
握力、肺活量、敏捷性、全身持久力等種目の体力測定。測定後は外部のトレーナーによる生活習慣のアドバイスを実施。
3. 栄養指導
外部の栄養士にご来場いただき、社員一人ひとりに対して栄養指導を実施。日頃の食生活の改善に繋がります。
4. 誕生日月チェック面談
誕生日月に看護師による面談を実施。健康診断結果やヒヤリングに基づき、日々の活動についてアドバイス。また、悩みの相談も受け付けます。

【その他】

1. 定期健康診断

毎年秋口に実施。健康診断受診者の中で有所見者は全員産業医面談を受ける事としています。

2. メンタルヘルス対策

会社より毎年メンタルヘルスチェックリストを全社員に配布。記入後集計されたものは本人にフィードバックされ、健康維持に役立てています。また、管理監督者に対してラインケアを中心とした内容でメンタルヘルス講話を実施しています。更に、超過勤務者への対策として、超過勤務の時間数によって上長面談、産業医面談を義務付けています。

以上